

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	駒木台福祉会館グラウンド整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	01	04	01	59
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	駒木台福祉会館の利用者	意図	福祉会館を地域福祉活動の拠点として、満足して使用してもらう。
事業内容	つばさ学園の不足する機能の増築に伴い、狭隘になる園庭の解消に向け、新たに駒木台福祉会館のグラウンドを整備することによって、利用者の利便性が向上し、市民の健康及び生きがいの増進と更なる地域活動の場を提供することができる。			
事業開始から現在までの状況変化	当初近隣に新たな施設を建築して、地域ふれあいセンターを移転し、既存の地域ふれあいセンターを改築する計画であったが、平成26年度に事業の見直しを行い、つばさ学園の不足する機能を園庭に増築し、新たに駒木台福祉会館グラウンドを整備することとした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・借用する土地の測量及び分筆登記業務を委託した。 ・新たに整備するグラウンドの設計業務を委託した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				6,231,053			
事業費(b)(円)				4,849,200			
うち一般財源				4,849,200			
職員給与費(c)(円)				1,381,853			
人役・職員(人)				0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	①借地の測量及び分筆登記業務委託 ②駒木台福祉会館グラウンド整備工事設計業務委託	③取り組みの課題	①借地の農地転用及び地目変更登記委託 ②グラウンド用地の賃貸借契約 ③グラウンド整備工事 ④グラウンド整備工事監理業務委託
②今年度(H26)に実施した取り組み	①平成27年1月完了 ②平成27年3月完了		④今後の改善計画